



Y's Men International

YMI

WORLD

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

Only for private distribution to members



YMIワールド
2019-2020 No.2
日本語版

ワイズ運動ニュース：サミットが国際的な親交と学び合いを促進／アレキサンダー判事、新しい墓石によって顕彰される／国際ヒストリアン・デビー・レドモンドによる献辞／アレキサンダー判事に因んでトレドの公園が改名／YMIは、マラリア撲滅に向けて新たな複数関係者パートナーシップに参加／マイクロヒストリー：デンマーク区-ヨーロッパ地域の発電所／ハワイのワイズメンズクラブ-100%YMCAに奉仕して／インタビュー：V. ジャスティン - インドのワイズリングズクラブ創始者イベント／地域からのニュース：デンマーク、日本、エストニア、米国、香港、カナダからの報告／魂の真言：カンボジアのねじれた銃

読者の皆さまへ

「動機づけられた」、「興奮した」、「希望が与えられた」、「うきうきした」。様々な言い方で表現されました。数週間前にトレドで行われたRDE(次期理事)サミットが閉会したときに、多くの者がそのように感じたのです。100周年を目指して掲げられた目標を達成するための「チャレンジ22」の戦略を固めた折に示された希望的な見方は、新たな駆動力を得ました。

サミットに参加することは、多くの参加者にとって最高の経験でした。今号のYMIワールドは、サミットおよび国際本部のチームと広域トレドYMCAによって良くコーディネートされた関連活動を掲載しています。私たちの国際ヒストリアンのデビー・レドモンドは、歴史は、私たちの創始者に対して不親切ではないことを確かにするための労を厭いませんでした。デビーは、ムン国際会長(当時)他と共にトレドを訪れて、私たちの運動のルーツを辿ることに、年の始めから大変忙しく過ごしました。トレドには、アレキサンダー判事の遺灰が埋葬された場所の墓石を含め、標識や記念碑が何も残されていないことを発見し、ムン国際会長は、ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトの創設を提案し、仙台での国際議会で正式決定されました。このプロジェクトの元でのひとつの取り組みは、何も印が無かったアレキサンダー判事の墓所に、ふさわしい墓石を設置することで、これは、私たちが11月にトレドに集まる前に実現しました。多くの者にとって、敬意を込めてこの墓石にバラの花を1本ずつ捧げるとは、心動かされる経験でした。

また、トレド市が彼に敬意を表し、児童公園の名前を変えたということを書き記すことは喜ぶべきことです。ウエード・カプツキエビッチ・トレド市長は前向きな人でした。広域トレドYMCAのブラッド・トフトCEOは、YMIが遺産プロジェクトのこれらの構成要素が障害なく実行できることを保証することに大きな関心を持ってくださいました。

これらが本号のメインの記事です。皆さんが楽しく読んで

表紙:ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の孫のアラン・オトウェルが、順番を待つサミット参加者の前で敬意の印の1本のバラを捧げた後に下がったところ。写真:チャーリー・レドモンド

ワイズメンインターナショナル公式誌

国際本部:Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205 スイス

国際編集長:コシー・マシュー

日本語版翻訳グループ:田中博之(委員長、東京多摩みなみ)、

青木一芳(千葉)、今城高之(横浜つづき)、利根川恵子(川越)、

太田勝人(東京町田スマイリング)、比奈地康晴(東京)、

倉田正昭(京都)、田尻忠邦(大阪)、谷川寛(大阪センテナリアル)、

谷本秀康(東広島)、中井信一(奈良)

印刷:(株)三浦印刷所 三浦克文(岡山)

いただき、トレドでのイベントに精神と思いが運ばれますように。

世界の様々な場所での私たちの運動についての紹介も続けます。今号では、デンマーク区とハワイ区のマイクロヒストリー(特定の場所、ことがらについての詳細な歴史研究)も掲載しました。地域からのニュースもいつもどおり際だっています。

今号の図書コーナーでは、グレート・トゥーンベリの「誰も、力を発揮するのに小さすぎることは無い」です。これは、彼女が気候問題活動家として、様々なフォーラムで行ったアピールを集めたものです。彼女は、実に小さな奇跡であって、国連を含む国際社会を動かしました。彼女は、私がこの原稿を書いている今、マドリッドでのCOP25で私たちの惑星の気候変動のインパクトに、より真剣に取り組むべきであると、世界のリーダー達に挑戦しています。彼女は、私たちすべて、特にこの惑星のことを大切に思う若者たちの手本とすべき人物です。彼女が今年のタイム誌の「パーソンオブザイヤー」に選ばれたことは、まさにふさわしいことです。YMIは、彼女そして世界の若者たちと、私たちのかけがえのない住まいである地球の破壊に対して声を上げることに連帯します。

あと約1週間で2019年が終わります。明るく豊かな2020年を楽しみにしています。どうぞ良いお年をお迎えください。

コシー・マシュー

私の本棚から

「誰も、力を発揮するのに小さすぎることは無い」

グレート・トゥーンベリ、ペンギンブックス
国連での歴史的なスピーチを含み、世代の声となった若き気候問題活動家グレート・トゥーンベリの画期的なスピーチ集。2018年8月、15歳のスウェーデンの女子のグレート・トゥーンベリは、気候危機に抗議するため、ある日、学校に行かないことを決めました。彼女の行動は、地球的な運動を巻き起こし、私たちの惑星のために何百万人もの学生にストライキを決行させ、政府に耳を傾けさせ、ノーベル平和賞の候補となりました。

「誰も、力を発揮するのに小さすぎることは無い」は、初めて、グレート自身の言葉をあなたに伝えます。地球全体に、国連で、米国会議事堂で、歴史を作り、街頭での大規模抗議を引き起こした彼女のスピーチを集めたこの本は、私たちがどれほど力がないと感じても、なぜ私たちは皆立ち上がってこの生きている惑星を守るために戦わなくてはならないかの「ときの声」です。私たちの未来は、そのことにかかっています。

(ある書評から)





トledoサミットの参加者たち

サミットが国際的な親交と学び合いを促進 オハイオ州トledo、2019年11月14-17日

第1回国際RDE(次期理事)サミットが、2019年11月14日～17日、ワイズ運動の創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダーの生誕地で開催されました。ワイズ組織の種々の層から90名以上の参加者が集い、相互の学び合いのうちに国際的な親交を深めました。

11月13日午後、V. S. バシール元国際会長はじめ多くのシニア役員、スタッフ、オブザーバーと共に、次期理事・次期地域会長・国際執行役員がトledo大学・ラディソンホテルに集まり、チャレンジ22の目標事項の策定・推進を協議しました。

国際協会設立100周年の準備行事の一環として、この会合は、国際協会の創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の故郷で開かれました。これによって、参加した人々が国際協会の偉大な遺産に直接触れる機会を得、ワイズの未来建設に向けての息吹を与えられるためです。

けました。新任の次期理事たちは、新しい友人のグループ、頼りになる人々を得て帰途に就きました。今後、持てる指導力を発揮し、ワイズ運動の新時代を拓いていくことでしょう。

この会合は、14日(木)夕、ウエード・カプツキエビッチ・トledo市長の開会宣言により始まりました。この日のゲストスピーカーは、広域トledo YMCAのブラッド・トフト会長兼CEOでした。

アイスブレイキングの時間のあと公式プログラムが始まり、この週を通じて、目標設定、財務と支援、遺産プロジェクト、統一されたブランディング、YMCAとの新たな協働関係、そして国際事業についての研修が続きました。参加者から選ばれた発題者の成功事例や革新的なアイデアの発表、多数の地域や区ごとの会合やインフォーマルな懇親、ネットワークづくりの時間もありました。



ジェニファー・ジョーンズ国際会長、トledo市長 Wade Kapszukiewicz に記念品を手渡す



開会式の司会を務める
ポビー・スティバース・アピキ
米国地域会長



広域トledo YMCAの
ブラッド・トフト会長兼 CEO

各自が国際協会に所属し、その不可欠の部分であるという感覚を研ぎ澄ますのが、チャレンジ22の行動計画の重点のひとつなので、これに合わせ、国際RDEサミットでは、権限委譲、鼓舞激励、親交、そして人的ネットワーク構築の機会を設



ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトの共同委員長のデビー・レドモンドとキム・サン・チェがプロジェクトの進捗を参加者に説明

アレキサンダー判事、新しい墓石によって顕彰される



ふさわしい尊敬の念をもって:(左から右へ)ジェニファー・ジョーンズ国際会長、デビー・レドモンド元地域会長、アラン+サンディ・オトウェル夫妻、ムン・サン・ボン直前国際会長、ブラッド・トフト氏、ジョース・ヴァルギース国際書記長、ジェイコブ・クリステンセン次期国際会長

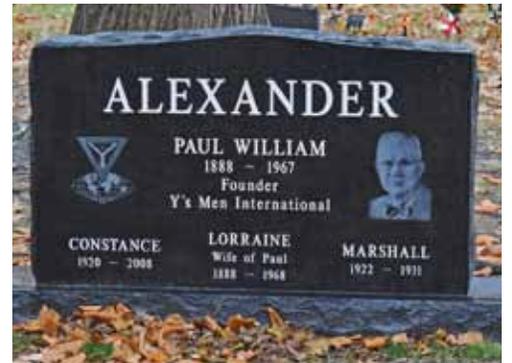
デビー・レドモンド国際ヒストリアンとキム・サン・チェ韓国地域会長を共同委員長とする遺産プロジェクトの尽力により、史跡ウッドローン墓地内にひっそり埋葬されていたワイズ創始者の墓所に、今や新しい墓石が設置されました。

各サミット参加者が墓石に一輪のバラを手向け、創始者アレキサンダー判事の孫息子アラン・オトウェル氏と妻サンディーさんもこの記念の時を共にしました。その後、判事が出席していた聖公会セントポール教会での短い礼拝で、アラン氏が幼時の祖父の思い出を語ってくれました。

デビー / チャーリー・レドモンド夫妻が、2台のバスに分乗した参加者に、トレード市内のアレキサンダー判事の生涯(1888-1967)を物語る場所を案内しました。



以前と今:(左) 2019年1月、ムン国際会長とポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトの共同委員長がアレキサンダー判事の遺灰が埋葬された場所を特定。(右) 2019年11月、その場所に新しい墓石を設置



(左) アレキサンダー判事の孫息子アラン・オトウェル氏が聖公会セントポール教会での礼拝で、幼時の祖父の思い出を披露。(右) マウミー市の同教会の外観



国際ヒストリアン・デビー・レッドモンドによる献辞

97年前の今日、ポール・ウィリアム・アレキサンダーと65名の人々は、最初の国際大会に参加するため、ニュージャージー州アトランティックシティに集いました。



2019年1月に遺産チームにより撮影されたウッドローン墓地入り口。

大会の日程は、11月15日から17日まででした。17のクラブから参加したこれらの人々は、共に力を合わせ、国際憲法および

組織の枠組みを定めると共に、初代の国際会長を選出しました。各クラブに持ち帰られた案件は、それぞれ承認され、この組織は、1922年11月22日に正式なものとなりました。

第1回目の国際大会を語るとき、ポール・ウィリアム・アレキサンダーが自らの言葉で語ったのは次のような事柄です。「私たちの国際協会が始まったアトランティックシティのコンベンションホールには、2つの大きな幟旗が掲げられていました。ひとつには、「そして、若者は夢を見る」であり、もうひとつは「夢なき人々は滅びる」と書かれていました。そして

この伝統は、ワイズメンの運動に縦糸と横糸のように織り込まれています。夢を持ったり、必要性や緊急性を感じたり、あるいは、私



ちがよって立つある種の理想主義を自分のものとする能力のない者には、ワイズマンとなる能力はありません。」

参列者それぞれが一輪ずつのバラを献花する前に行われたデビー・レッドモンドのスピーチ

私たちは、今日、私たちの創始者で初代国際会長、私たちの組織の背景をなす動機となった人を讃えるためにここにいます。彼自身、讃えられたり崇められたりすることを決して望んでいませんが、彼の夢、彼の情熱、彼の功績を認識することは、私たちの義務です。そして、私たちは、彼が書いたモットー、「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」を繰り返して唱えなければなりません。

ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事、あなたご自身、ご家族、あなたの夢、愛、ワイズメンズ国際協会に捧げられた貢献に敬意を表し、あなたの墓石に花を捧げます。



左：アレキサンダー判事が子供の頃参列したトレドにある教会 中：トレドの郊外、マウミーにあるアレキサンダー判事が子供のころ住んでいた家 右：ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事が判事として務めたトレドのルーカス郡裁判所

新しい IPE (次期国際会長) 就任式

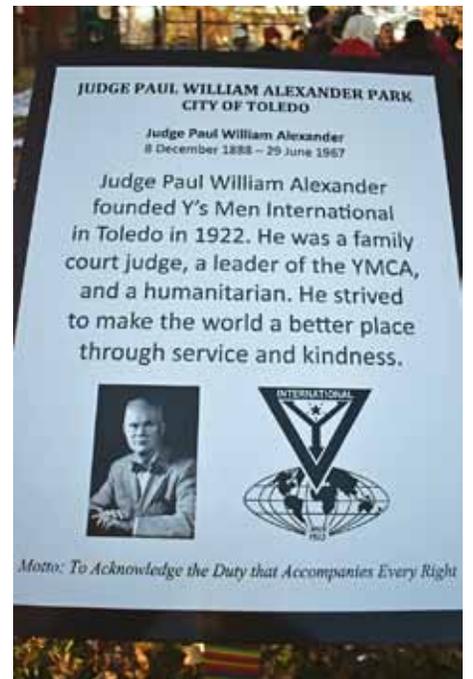


左：ジェイコブ・クリステンセン次期国際会長に襟ピンを付けるジェニファー・ジョーンズ国際会長 右：役員とそのパートナー達、左から、フィリップス・チェリアン国際会計、ラッセル・ジョーンズとジェニファー・ジョーンズ国際会長、ムン・サン・ボン直前国際会長とリ・ハイ・ソック夫人、ジェイコブ・クリステンセン次期国際会長とランディ夫人、ジョース・ヴァルギース国際書記長

アレキサンダー判事に因んでトレドの公園が改名

2019年9月17日、米国オハイオ州・広域トレド市議会は、トレド市中央部にある公園名を満場一致でワイズメンズクラブ国際協会創始者、ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の名前とすることを決議しました。市当局による、公園の正式奉献式は、トレドで行われた最初の「国際協会次期理事サミット」参加者が参列して、2019年11月16日に行われました。地域の公園の名称が私たちの創始者名に変えられるのは、2020年に迎える創立100周年を祝う、「ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクト」の一環でした。

かつては「スーペリア公園」と呼ばれ、住宅地の真ん中に位置している5歳から12歳までの子供専用のこの公園は、ウエード・カプツキエビッチ市長により捧げられました。この公園の改名は、遺産計画のゴールのひとつで、カプツキエビッチ市長とトレド市の絶大なる支援を得て達成できました。広域トレドYMCAのCEO兼会長のブラッド・トフト氏の揺るぎない支援がサミット開催の実現を可能にしたものであることにも厚くお礼を申し上げます。



奉献式の日アレキサンダー判事の記念碑が除幕された。



公園にある子供用遊具



公園の奉献の後、テレビカメラに向かって語るトレド市長ワード・カプツキエビッチ氏



ジョース・ヴァルギース国際書記長とトレドYMCA・CEO兼会長のブラッド・トフト氏



奉献式の後の公園にて参列者の記念写真

闘いをステップアップ

YMI は、マラリア撲滅に向けて新たな複数関係者パートナーシップに参加



中央にフランスのマクロン大統領、右端にマイクロソフト社の創業者ビル・ゲイツ。第6次増資会合に他の関係者らと一緒に参加

ワイズメンズクラブ国際協会は、世界 YMC A 同盟と共に、「世界エイズ・結核・マラリア対策基金」(略称:グローバル・ファンド)を支援する新たな複数の利害関係者パートナーシップに参加することを、喜びを持って発表しました。この発表は、10月9-10日フランス・リヨンにてエマニュエル・マクロンフランス大統領が招集した第6次増資会合の期間中に行いました。

ワイズメンズクラブ国際議会は、各国政府、アップル、マイクロソフト、グーグル、マスターカード、国連基金、タタ財団、スターバックスといったグローバル・ファンドを支援している約60の団体の仲間となるプロジェクトを満場一致で承認いたしました。

世界 YMCA 同盟は、世界120か国で6,400万人の会員を持っていますが、世界に向かっての唱道をコーディネートして行き、また、コミュニティーの関与を支援し、特に若い層、最も罹り易い者のマラリアの重荷を減らす事業を展開します。

国際開発省(DFID)は、英国政府の中の世界の発展を目指す一部門ですが、マラリア撲滅を目指す事業に約100万米ドル近くのファンド提供を申し出ています。

「私たちは、ワイズメンズクラブ国際協会や世界 YMCA 同盟がグローバル・ファンドのマラリア撲滅を目指すプログラムを強化するための投資を歓迎します。」「世界 YMCA 同盟は、持っている膨大なネットワークを活用して、マラリア撲滅運動により多くの若者を結集して、2030年までにマラリアをほぼ撲滅させることができるでしょう。とグローバルファンドのピーター・サンズ事務局長は、語っています。

世界 YMCA 同盟は、気候変動の問題や、精神衛生に関する問題や、若者の経済状態の改善等について関心を持っていることを正式に発表し、関与する約束をしています。マラリアに関して、気候変動がもたらす負の側面が若者の就職機会を減らす結果をもたらす、若者の精神衛生状態を悪化させ得ます。このパートナーシップを締結することによって、グロー

バル・ファンドが掲げる使命の一部として、1,600万人余の生命を救うことに貢献することでしょう。

(出典:YMI ニュース)

第6次増資会合

2019年初頭、グローバル・ファンドは、世界に向かってエイズ、結核、マラリアの撲滅を強化させようと呼びかけました。第6回増資会合では、少なくとも1,400万米ドルにファンドを引き上げることになりました。

強化は、選択肢としてではなく、約束の遂行でした。この瞬間でも「持続可能な開発目標(SDGs)3:「健康を全ての人に」に向かって達成しようとする様々な計画が実行に移されています。手をこまねている時間はありません。

グローバル・ファンドの1,400万米ドルは、以下の目的のために使用されます。

「エイズ、結核、マラリア撲滅のため、世界が正しい方向に向かうよう支援する」:

* 2021年から2023年の間に、1,600万人の命を助けること。2017年のレベルに比較して2023年には上記3つの病気からの死亡率を52%減らすこと

* 上記3つの病気による死者は、2005年で410万人、2017年で250万人を記録したが、2023年には130万人に減らすこと

* 上記3つの病気で、2017年のレベルと比較して、2023年には発生率を42%減らして、2億3,400万人の感染者を防ぐこと

「持続可能な開発目標(SDGs)3と世界中の健康増進に向かってスピードを上げる」

* 直接投資として、約40億米ドルを投入して健康増進システムを強化し、病気発見のツールや監視システムづくりをすること、サプライチェーン・マネジメントを強化すること、医療従事者へのトレーニング、患者中心の医療体制への移行の促進、患者ケアの仕方の多様化等を行う。

* より回復の早い医療システムや、より強力な監視システムを作り、病気診断や緊急患者への対応能力の向上を図ること、耐性菌による新たな結核発生への対応など、世界中で健康維持にとって脅威となっていることに対応できる能力を高めること

* 1ドルを投じて19ドルの効果をもたらす投資効率を目指すこと。1ドルの投資で健康を得てそして経済的な成果をもたらすことによって19倍のリターンをもたらす、さらに「持続可能な開発目標」で記載しているテーマ達成に貢献できるようにすること

* 460億ドルの投資を促進して、エイズ、結核、マラリアの3つの病気を撲滅させ、共同融資と健康維持を目的とする融資に関する技術支援によって健康システムを強化すること

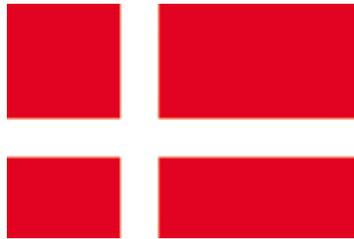
* 市民社会、影響を受けるコミュニティーを含むパートナーとの協働によって、誰も取り残さない、より包摂的な健康システムを築くことにより、性と人権に関する障壁を含む健康面での不公平さを無くすよう取り組むこと

出典:the global fund.org より



マイクロストーリー

デンマーク区 - ヨーロッパ地域の発電所



デンマークは、ヨーロッパでワイズメンズクラブが設立された最初の国ではありませんでしたが、第二次世界大戦後、デンマークのオールボー出身のビジネスマンであるエイナー・ダービッドセンがプラハ(旧チェコスロバキア)に旅行し、ワイズメンについてチェコの友人から聞きました。ヨーロッパのその地域のワイズメンズクラブは、戦争と共産主義の台頭のために消滅しましたが、そのようなクラブのアイデアにダービッドセンは、興味を持ちました。プライベートランチで、彼の友人は「あなたは幸運な男だ」と言いました。「はい、そうですが、でもどうしてそんなことを言うのですか?」「あなたはワイズメンズクラブを持つことができる自由な世界に住んでいるからです。」「ワイズメンズクラブ、それは何ですか?」とエイナーは、問いました。オールボーに戻ったエイナーは、先頭に立ってワイズメンズクラブを設立し、1947年にオールボー・クラブはカナダの次期国際会長・デイビッド・J・コーヒーから加盟認証状を受け取りました。このように、デンマークの最初のクラブは、いわばプラハのクラブの遺跡の上に建てられたのでした。

オールボー・クラブのメンバーの1人であるニールズ・ヴァス・ジェンセンは、1952年にヨーロッパ/アフリカ区の理事に選ばれました(当時は国際ディレクターと呼ばれていました)。その後、1972年に、彼とエイナー・ダービッドセンは、デンマーク区の名誉会員に選ばれました。これは、「ゴールデンイヤーのシルバージュビリー」(デンマーク区25周年およびワイズメンズクラブ国際協会50周年)を祝う、オールボーの区大会で授与されました。

ゆっくりだが着実な成長

ワイズメンズクラブのアイデアはオールボーからデンマーク全土とノルウェーに広がり、1958年にノルウェー



デンマークにおける「ワイズダムの父」エイナー・ダービッドセンとニールズ・ヴァス・ジェンセン(1966年)

の最初のクラブであるスタヴァンゲルが設立されました。最初、ワイズメンズクラブ設立の動きの拡大はゆっくりでしたが、1970年代には、毎年、5から10の新しいクラブがチャーターされるという、力強い成長を経験しました。アメリカ、特に1955年にデンマークを訪れた国際書記長のヘンリー・グライムズから、素晴らしいサポートを受けました。

1964年に、ヨーロッパ-アフリカ区が分割され、ヨーロッパはスウェーデン-フィンランド区、中央/南ヨーロッパ区、デンマーク-ノルウェー区の3つの区で形成されるようになりました。同じ年、コリングのエリアス・ラウリツェンが、デンマーク-ノルウェー区の理事(国際ディレクター)として引き継ぎました。1969年、デンマークとノルウェーは、2つの独立した区になりました。デンマーク区の初代理事(国際ディレクター)は、カルンボーのアイギル・K・アンデルセンでした。

アイギル・アンデルセンは、カリスマ的な指導者であり、彼とキエレラップ・クラブのベント・ホエン・アンデルセンは、1972年の新しい国際憲法に従って設立された国際議会に初めてデンマークから選ばれた2人でした。1980年、アンデルセンは、スウェーデンのストックホルムで開催された国際大会で、最初のデンマーク人として、ワイズメンの最も権威のある賞である、ハリー・M・バラントイン賞を受賞しました。

今日のデンマーク区

デンマーク区には、158のクラブがあり、その中の21クラブは中央および東ヨーロッパのクラブです。1989年にベルリンの壁が崩壊した後、ヨーロッパの旧共産主義地域を再び旅行することが可能になり、デンマーク区は、ワイズメンズクラブのアイデアがデンマークに来る原点であるこの地域で、ワイズメンズクラブを再構築するために、拡大の機運を高めようと決定しました。この運動の2人の立役者は、ラッセ・ベルグステットとポール V. トムセン(現在は元国際会長)です。デ



1997年オールボーの区大会に参集した元理事



女王と国際大会委員会委員長・ヘニング・カークフェルトとの握手を求めて並ぶ元国際会長のカイ・ステノ・ハンセンとクリスチャン・バッハ・イヴェルセン

ンマークの「マザークラブ」の支援を受けて、彼らは、運動を再開させることに成功しました。今日、3つの部があり、スロバキア、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、モルドバ、コンボに21のクラブがあります。ポール・V・トムセンは、この功績やその他の功績により、3人目のデンマーク人としてハリーマン・バラントイン賞を受賞しました(この賞を受賞した2人目のデンマーク人は、元国際会長のクリスチャン・バッハ・イヴェルセンです)。

デンマーク出身の国際会長

デンマークでの最初の国際大会(および北米以外で開催された最初の国際大会)は、1970年、コペンハーゲンで開催されました。1,700人以上が参加したこの素晴らしい国際大会に関連して、デンマーク人が、北米以外からの最初の国際会長として選ばれました。それは、フレデリシア・クラブのポール・H・ヨルゲンセンで、彼は1971-72年に、国際会長を務めました。

彼に続いて、ゴットフリート・C・ニッセン(1978-1979)、クリスチャン・バッハ・イヴェルセン(1979-1980)、カイ・ステノ・ハンセン(1987-1988)、オレ・ハンセン(1999-2000)、ラッセ・ベルグステット(2007-2008)、ポール・V・トムセン(2013-2014)が国際会長となりました。ここで特筆すべきは、ポール・ヘンリック・ホーヴ・ジェイコブセンは2020年に国際会長に就任するように選出されましたが、今よく知られているように、彼は、2019年8月にアルメニアを訪問中に亡くなりました。彼に代わって、元地域会長のジェイコブ・クリステンセンが最近選出されました。デンマークには国際会計経験者が1人おり、それはエリック・ブルームです。

デンマークでの2回目の国際大会は、1986年にオーフスで開催されました。マルガレーテ女王殿下が開会式に参加しました。27か国から1,700人を超える人々がこの大会に参加し、170人のユースが最初のインターナショナル・ユース

コンボケーションに参加しました。

世界中のユースが5日間集まり、国際大会に関連する活動を行いました。コンボケーションは、大成功を収め、大会委員長のAセイヤ・ポールセンが大いに誇りに思って当然でした。

ユースコンボケーションの背景は、1974年に採択されたYEEP(ワイズメン子弟高校留学生交換)プログラムに基づいたものでした。このプログラムを通じて、2000年までに約170人のデンマークの若者が他の国のワイズの家家庭に滞在しました。同じ期間に、このプログラムに参加し、外国に派遣された若者の数は約450名に上っています。



1986年のユースコンボケーション。後列右に、元国際会長・オレ・ハンセンと元地域会長・A・セイヤ・ポールセン

YEEPプログラムの開始が成功したことにより、多くの若者が外国に行くことを望んでいることが証明されましたが、その後の展開で、交換留学に1年を費やすことがますます困難になったことがわかりました。そこで1992年、オスロでの国際議会で、ワイズメン子弟短期交流プログラム(STEP)が導入されました。

デンマークで3回目となる国際大会は、2008年にヘアニングで開催されました。この大会とユースコンボケーションには多くの参加がありました。この大会の前に、元国際会長とその配偶者の3日間の集まりも実施されました。デンマークでの4回目の国際大会は2020年にオーデンセで開催されます。みなさん、オーデンセでお目にかかりましょう! デンマーク区を代表し、元国際会長・クリスチャン・バッハ・イヴェルセンによる寄稿



ヘアニング国際大会での元国際会長とパートナー

ハワイのワイズメンズクラブー 100%YMCA に奉仕して



ハワイで最初のワイズメンズクラブは、1926年コーフォラムによってヌーアヌ YMCA 内に設立されました。K. F. ラムは、北米以外では 1924 年に上海にワイズメンズクラブを設立しました。

そして彼がヌーアヌ YMCA に戻った際にハワイ諸島にハワイ初のワイズメンズクラブを設立しました。当初、会員の年齢は、20～40歳の男性に限定されていました。その後、クラブ会員は4分の1以下が36歳以上である事を条件に、クラブに無期限に残留する事が出来る様になりました。

大恐慌時代(1929-1930年半ば)には、それ以前に結成されたクラブは、活動が不活発になりました。しかし、大恐慌時代の終わり、クラブの復活は、1937年11月30日にホノルルクラブの再編から始まりました。クラブの最初のプロジェクトは、歩行者の安全の促進と、小学校と協力してジュニア交通警察プログラムを支援するものでした。これは、後に JPOS として知られています。

ハワイ区の今

現在に早送りしてみましょう。ハワイ区の Y サービスクラブの会員は、ハワイ州の全ての島で 130 名のボランティアが積極的に活動しています。ハワイには 9 つの Y サービスクラブが有り、地元の YMCA と提携関係に有ります。ハワイ区には 2 つの部が有ります。6 つのクラブが有るオアフ島のメトロ部と各島にひとつづつクラブが有る OVG 部です。(オーキッド・ハワイ島、バレー・マウイ島、ガーデン・カウアイ島) 1938 年 7 月 27 日、ヒロワイズメン / ウィメンズクラブは 25 名の会員でチャーターされました。国際協会の憲法に従って 20 人のメンバーは 35 歳未満で無ければなりませんでした。戦時中、会員は、3 人のアクティブメンバーだけに激減し、解散の話も多く有りましたが、何とか存続する事が出来ました。ヒロワイズメン / ウィメンズクラブは、新しい YMCA ビルの建設に関する YMCA 理事会の行動を条件として、10,000 米ドルの約束を通じてビル開発を主導しました。クラブは、最終的に調達された合計 282,260 米ドルの内、14,000 米ドルを調達し、1966 年 2 月 13 日にワイ

アケア・セトルメント YMCA ビルが寄贈されました。1950 年以來、ヒロクラブは、クリスマスツリーセールを後援しています。このセールは、様々な企業、代理店、その他の地域社会支援グループの支援を受けて、全てボランティアが運営しています。このセールによる純収入は、YMCA の年次キャンペーンを支援し、カウ地域の学生を支援してオアフ島のユースや政府のキャンプに参加させたり、ハリケーンや火山噴火被災者の支援、ホームレスの支援を行っています。



コー・フォン・ラム

東カウアイワイズメンズクラブは、1950 年 7 月 17 日にチャーターされました。現在、トム・タナリー / YMCA 総主事は、クラブの会員であるだけでなく、数年にわたりクラブ会長を努めています。クラブの会員、ジェニー・ユキムラの発案で地域プロジェクト「Peace Through My Eyes」が 2011 年に実施されました。YMCA スプリング・インターセッションに参加する、3 年生、4 年生は、平和の意味についての絵とエッセイを書ように求められました。このプロジェクトは、地元ワイズとの主要なコラボレーションとして続いています。

1954 年 8 月 18 日にチャーターされたマウイワイズメンズクラブは、その家族や友人の尽力でマウイ郡祭りの駐車場を監督する人材を提供し続けています。

ホノルルヌーアヌワイズメン / ウィメンズクラブは、1964 年 5 月 29 日にチャーターされました。最も注目すべきは、毎年恒例の地域奉仕プロジェクトです。過去 47 年にわたりカラナ・ファイアセンターにて 140 名の高齢者に感謝祭の昼食を提供しています。

ハワイ区の殆どのクラブとは異なり、カイク Y サービス



東カウアイ Y サービスクラブの会員



ワイキキセトルメント YMCA のオープンハウスを祝って

スクラブは、1963年4月5日にチャーターされ、一貫して若いメンバーを入会させることができています。現在、会員の50%は40歳未満です。

若いメンバーとYMCAスタッフやボランティアアドバイザーとの関係は、クラブにとって重要な新入会員獲得の機会を生み出しています。若い会員を奨励し、維持する為のインセンティブとして、クラブは、会員の初年度の会費と手数料を免除しています。

ウインドワードYサービスクラブは、1980年4月5日にチャーターされました。現在、クラブの会員は、ウインドワード・ホームレスサービスケアの行事の支援に積極的に関与しています。毎月最終火曜日に、ウインドワードYMCA、ヒューマンサービス研究所、デイブレイク教会が協力してカイルア地区のホームレスコミュニティを支援するサービスを提供しています。クラブ会員は、このプロジェクトにトイレ用品やバッグ入りのスナックを提供し、毎月の配布を監督しています。

マイレ・カネムラ、ミリラニ YMCA・ブランチ主事の下に、西オアフワイズメンズクラブは、1984年1月14日にチャーターされました。ハワイ区の指導的役割の多くはこのクラブより展開されて行きました。3名の元区理事がこのクラ



カイクキのユース達がヘルシー・キッズデーにかき氷ブースで手伝



ランス・ニミとクリス・オマロッドがお客様にクリスマスツリーを見せている

ブから輩出されました。

カリハワイズメンズクラブは、フィル・チュンカリヒ YMCA の新任主事により、1991年1月19日にチャーターされました。疲れを知らずに働くフィルは、新入会員を募集し、クラブの定款と細則を起草し、また、クラブの目標とビジョンも設定しました。高齢者ケアホームで行う、毎年のクリスマスキャロルは、このクラブの地域奉仕を象徴しています。

ホノルル中央 YMCA・Y サービスクラブは、1994年5月24日にデイブ・リビングストン・ブランチ主事の指揮の下に設立されました。最近、クラブは、25周年を祝い、オアフ島内のクラブを招待して、この重要な機会を共有しました。このクラブは、中央 YMCA に対する直接的な影響力を最も誇りに思っており、YMCA のスタッフに毎年恒例のホリデーディナーを提供しています。

ハワイ区は、米国地域の指導的役割を務めていることで良く知られています。3人の会員が地域会長を務め、現在も地域会長を務めています。レイ・セト(1993-94)、フィル・サマー(2009-11)、現在は、ボビー・ステイバー - アピキ(2019-21)。Y サービスクラブとしての私たちの使命は、私たちが住んでいる各地域に変化をもたらし、ホノルル YMCA、ハワイ島 YMCA、カウアイ・ファミリー YMCA、マウイ・ファミリー YMCA 協会を支援することです。このことは、YMCA と築いてきた強力な関係と、各クラブが奉仕してきたプロジェクトによって証明されています。

ハワイ区を代表してジーン・マッカーシー提供

V. ジャスティン – インドのワイズリングズクラブ創始者

多くの人達には、単にV. ジャスティンとして知られている、ヴェダシロマニー・ジャスティン (Vedasiromany Justin) は、物静かで優しい 80 歳代初めの紳士です。1961 年に 25 歳でトリヴァンドラムワイズメンズクラブ(当時のインド・セイロン区、現在の南西インド区)に加入した彼は、おそらくインドでの運動の最も年配で活発なメンバーでしょう。彼は、1972 年から 1977 年まで、オハイオのトレドダウンタウンワイズメンズクラブのメンバーでもありました。ジャスティンはこれまでずっと忠誠で規律を持ったメンバーであり、今でもクラブの定例会に、そして可能な場合は区大会、地域大会にも出席しています。

トリヴァンドラムの私たちの特別通信員で一時期クラブのメンバーでもあった、スニル・ジョージ・クリアンがジャスティンと会い、「古き良き時代」について語り合いました。以下に、ジャスティンが、どのようにしてワイズリングズクラブ(インド地域にしか見ることができない事象。訳注:コメントによるクラブ)をどのようにして構想し、具体化し、さらにファミリークラブの概念を推進していったかを、私たちと共有してくれました。



トレドの時のお話をする前に、あなたの所属クラブへの関わりについて少しお話ししてもらえますか？

あなたもご存知のように、私は、1961 年から Y's マンになり、所属したクラブは、YMI にとって最初のインドからの国際会長であった、P. スクラマン博士を出した、トリヴァンドラムワイズメンズクラブでした。クラブに於いては色々な役員をしてきましたが、決して自分から新たな役割を求めようとはしませんでした。私は、クラブが私に割り当てた役割を忠実に果たしましたが、その中には 1969 年に担当したクラブのブリテンの編集もありました。

トレドにいた時のワイズ運動への関わりについてはどうですか？

1972 年の運動の 50 周年の際に、私はトレドに行き、写真などの勉強のために 5 年間滞在しました。私はポール・ウィリアム・アレキサンダーの所属クラブで、この運動の母体クラブである、トレドダウンタウンワイズメンズクラブに 1971 年 1 月に入会を許可されました。1974 年にはクラブ書記に選ばれました。その時クラブのすべてのメンバーが 65 歳以上であり、数年後にはクラブそのものの存在が危くなる恐れがあることに気が付きました。ですので、私は、より若いメンバーの入会に努力しましたが、必ずしも成功しませんでした。私は、区の活動にも力を入れ、1976 - 1977 年度のオハイオ西・ヴァージニア区のブリテン・エディターを務めました。

私は、自分の仕事に戻るために 1977 年にインドに帰りました。1982 年か 1983 年でしたか、私は、トレド・ダウンタウンクラブが公式に解体寸前であると聞きましたが、その時点では、ただ 1 人残った創設メンバーであった、フォード・ウェバーが未だ生存していて活躍していました。

私達は、あなたがワイズリングズクラブの創設者であり「ファミリークラブ」概念の創始者でもあるのを知っていますが、あなたのトレドでの経験がその動機付けであったと言えますか？

はい、私は、高齢化の兆しを見ましたし、先に話した例にあるようなその後の数年の経過で、私が正しかったことが証明されました。

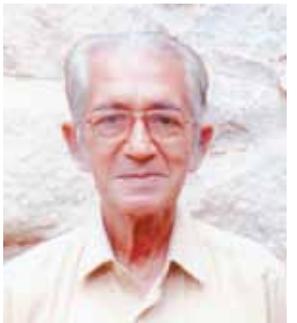
私は、ワイズリングズクラブを多少個人的な理由で振興しましたが、1970-71 年度の当時のインド・セイロン区のブラザー

クラブ担当の RSD の時に、第 2 のワイズメネットクラブを結成する機会を与えられました。その当時の私のように、30 代でクラブの活動にフルに関わっている者にとって、それは、私達がクラブの会議に参加し、支援プロジェクトを実施している際には、妻と子供たちを家に残していることを意味していました。最初のワイズリングズクラブ(それは世界で最初だったと言えるものですが)も同じ年に結成されました。それがファミリー(家族)クラブ概念の始まりであり、それは、今では世界中の多くの区で一層評価され、採用されているものとなっています。それは、ユニークな概念であり、ワイズメンズクラブ国際協会を他の奉仕クラブから際立たせているものだと私は信じています。

しかしながら、西洋諸国における家族の生活は、伝統的なインドのそれとは違ったものですので、ファミリークラブの概念は、多くの議論や激励を呼ぶものではありませんでした。

クラブの拡張のための方策について何か言いたいことがありますか？

第一に、奉仕の精神に富んだユースがクラブに参加するように魅力あるものにならなければいけません。現メンバーが



1920 年に最初のワイズメンズクラブが設立された YMCA のサイト。その後取り壊されてしまったが、その場所は標識で記録されていた。



ジャスティン(左端)、ジェラルド L ヘイル(国際書記長、1963-1973)と
その他 2 名、1996 年カナダのフレデリクトンにて

知っている若いカップルの中から 2 人か 3 人の新メンバーをリクルートすることが、長期的な安定性と関心を高めることになります。私の所属クラブがそのよい例です。私たちは、1951 年に 23 人でチャーターしましたが、現在 40 人以上のメンバーがあり、まだ増えています。配偶者と子供たちを足した乗数効果を見てください、それは、まさにコミュニティーと言えるものになっています。

次には、家族のすべてがそれぞれ、場を見出し、フェロウシップを楽しむファミリークラブのアイデアを進めなければいけません。私のクラブが活発で拡大しているひとつの理由は、このファミリークラブの概念があるからなのです。

その他では、私たちがトリヴランド YMCA と密接な活動協力関係にあるということです。ファミリークラブ概念が、シニア、中年、若いカップルがひとつのプラットフォームを共有するという交じわりの場を認めるものになるのです。活発なワイズメネットクラブ、ワイズユースクラブそしてワイズリングズクラブの参加で集まりが生き生き



としたものになり、活動が有意義なものになるのです。

何か落胆したものはありましたか？

「はい」と「いいえ」ですね。全体としては、私は、YMI によって提供された、私たちより恵まれていない人々の為に奉仕するという機会を楽しんでいます。ワイズダムにおいて一つの不満は、国際レベルで、ワイズリングズやユースの存在が認知されていないことです。それらの振興が、運動の安定化と増進への大いなる触媒になるかもしれないのです。

もう一つは、私たちが私たちのイメージを映し出すことに失敗したということです。1977 年の 7 月 25 日に、75 周年の記念集会に出席するためにトレドを訪問した時に、私がトレドに居た時に気に入って読んでいた町の新聞、トレド・ブレード紙を読んだのですが、以下の見出しを読んでショックでした：「Y クラブの 500 人が YMCA の創立を祝す」、そしてその後の冒頭の段落も続けて、「約 500 人の国際ワイズメンズクラブのメンバーが今週トレドに滞在し、YMCA の 75 周年を祝う」と書いていたのです。

最後に、現在の Y's メンに対して何か助言がありますか？

奉仕の精神を耕し、社会に奉仕することです、何故なら、奉仕こそがこの惑星に私たちが居住するための家賃なのですから。



受賞者達の PAP K. C. サムエルがベスト AP 賞、韓国の PRD ムン・セオ・ギルがベスト RD 賞を、それらの賞を創設した IPIP ムン・サン・ボンによってトレドでの RDE サミットで授与された。このような賞が授与されたのは初めてのことで、今後多くの受賞が予想される適格者達が競うのが期待されている。



ジャンボ クラブ：韓国エリアでの極めて異例な会員獲得キャンペーンの中で、新クラブ、ギムヘー・ヘルパーズハイ・ワイズメン & ワイズウィメンズクラブが 12 月 8 日の創立者の日に、100 日間のキャンペーン挑戦期間の最終日に創設され、その新たな高みに到達した。この新クラブは、医師、看護師、医療事務従事者達から構成されていて、IPIP ムンによって入会式が行われた。これは、すべての参加している医師たちがその医療活動を通じて真のボランティア精神にコミットしているため、YMI の医師プログラムにとって確実な会員増強を後押しするものである。

デンマーク：IBC -2から4へ

1967年に、ノルウェーとデンマークで、アーレンダールワイズメンズクラブとアーズワイズメンズクラブの2クラブが設立されましたが、その後1974年に、アーズクラブのメンバー2人(ヨハネス・マドセンとクリスチャン・モーゲンセン)がアーレンダールクラブを訪れて、両クラブのブラザークラブ締結を提案しました。皆さんは非常に友好的で、その後両クラブメンバーは少なくとも年1回は会い、海を越えた個人的な友情を深めました。その上、両クラブの一組のメンバーが結婚するまでに発展しました。

トライアングル・ブラザークラブ:1979年1月、アーズクラブのメンバー(クリスチャン・バツハ・イーバーセン、当時次期国際会長)が韓国のソウルで開催された年央会議に向かう途中にスリランカを訪問しました。スリランカではモラトゥワイズメンズクラブに歓待され、同クラブが地元の病院、ガールズホームやチルドレンズワード(Children's Ward)など、地域のコミュニティーに提供している奉仕活動を目の当たりにして非常に感動し、帰国後、彼は、モラトゥワと2つのスカンジナビアの両クラブ間でトライアングルの締結を提案しました。

それは、歓迎の中で承諾され、40年後の今、3クラブ間で相互訪問や、無数の手紙やメールのやり取りを行ったことを振り返ることができます。アーレンダールの現会長の2人娘は、ここ数年の間に幾度かスリランカを旅行し、今年11月11日には、両親のエギル・オッド・ハルヴォルセンと妻のアリスは、交流40周年記念を祝うためにアー



ブラザークラブ締結40周年を記念して11月にアーズを訪問した時の写真。左から右へ:エギル・オッド・ハルヴォルセン(アーレンダールクラブ会長)、クリスチャン・バツハイヴェルセン(元国際会長)、オレ・モーラー(アーズクラブ会長)

ズクラブを訪れました。

クワドラングル・ブラザークラブ締結:1987年、アーレンダールワイズメンズクラブのジョン・リンドセットがBF代表として北米を旅行しました。彼はモンタナ州のヘレナワイズメンズクラブを訪問した後、非常に友好的だったので、アーレンダールに戻ってから、ヘレナクラブもトライアングルに参加して、トライアングルをクワドラングル、つまり4クラブのブラザークラブにすればどうかという提案をしました。1992年オスロの国際大会では、クワドラングル・ブラザークラブの認証状に署名がなされました。メール配信技術の発達で、今も4クラブ、お互い良い関係を保っています。

アーレンダールクラブ会長 エギル・オッド・ハルボーセン

日本:「ワイズデー」にギネス世界記録に挑戦

日本のワイズメンズクラブは、11月10日を「ワイズデー」として記念しています。1928年のこの日、日本で初めてのクラブである大阪ワイズメンズクラブがチャーターされたからです。この日の前後に多くのクラブがワイズダムの発展を願ったり、新しいクラブの設立を目指したりして様々なイベントを開催します。

10月27日、西日本区・京都部では京都の商店街でギネス世界記録に挑戦しました。「互いのTシャツの背中に1分間にサインをした最多人数」が挑戦した世界記録でした。

結果、919人の人々が、その多くは呼びかけに参加した一般の方々でしたが、サインに成功し、これまでの記録の918人を超えたこ

とが公式に認定されました。チャレンジの前後には、近隣の公園に、音楽ステージやワイズメンズクラブやその活動、SDGsを紹介するブースが設置されました。

イベントの様子は、テレビや新聞でも紹介され、ワイズメンズクラブが一般に知られ、また、新入会者が得られる良い機会ともなりました。

京都部部長 島田博司



左:Tシャツにサイン。左は門川京都市長、中央後ろ向きは島田部長 右:ギネス世界記録の公式認定証とともに

エストニア:東京でヨーロッパの東とアジアの東合流

パルヌワイズメンズクラブのメンバー、マリーナとジェラルドの2人は、東京と東京近郊のワイズメンズクラブのメンバーに夕食会に招かれました。これは、われわれが日本でのラグビーワールドカップを追いかけていたからです。8つの日本のクラブ、千葉、川越、東京八王子、東京サンライズ、東京江東、東京たんぽぽ、甲府 21、東京武蔵野多摩と私たちエストニア・パルヌのメンバーが参加しました。

素晴らしい夕食会は、東京都新宿区の新宿サミットクラブで開催されました。まさに日本の暖かいおもてなしと好意の表われでした。私たちの来日に、東京とその周辺の多くのメンバーが集まり、各クラブ間で、昔からの友人と再会し、新しい友人そしてもちろんエストニアの友人が出来ました。この夕食会は、両国の懇親を深め、活動の報告をしあう機会でありまた、繋がりを築き、共にプロジェクトを行う可能性の始まりとなりました。

姉妹活動によってクラブを支援するため、YMCA は、日本のクラブの活動に重要な役割を果たしていると見られます。募金と文化イベントの促進は、日本とエストニアのワイズメンズクラブの共通の目的です。YMI の一員であることの2つの利点が挙げられました。



ホストとパルヌからの訪問者達

1つ目は、慈善団体の支援を目的とした活動に参加すること、そして2つ目は、世界中のワイズメンズクラブのメンバーとのつながりを促進し、活用することです。遠く離れた国に共通の目的を持った良き友人がいて、障壁でなく橋を築くということは素晴らしい考えです。この歴史的訪問では多くの記念の品々が交換され、実に幸福な、元気づけられた集まりでした。

マリーナ・メシプー・ルーンクラブ会長とジェラルド・ルーンの投稿

アメリカ:ハワイアンスタイルの募金活動

日曜日の早朝、毎年恒例のヌアヌ募金活動に向かう途中には、鮮やかな虹、雲に覆われた緑の山々や、流れ落ちる滝や、または青くきらめく海面に出会うかもしれません。

9月のそんな朝、ヌアヌYMCA 正面の駐車場左奥隅に、ホノルル - ヌアヌワイズメン & ウィメンズクラブがヌアヌYMCAの支援を受けて、長年続く毎年恒例の募金活動の準備が整い、「第50州のニワトリ」が調理したおいしいハワイ風ホク(星の意)のマリネされた鶏肉のバーベキューと寿司職人手作りの巻き寿司を販売する光景を見ることができましょう。

食べ物に携わる募金活動には、多くの準備が必要です。



保健当局からの指示のポータブル流し台を設置し、少なくとも調

お客さん待つメンバー



販売チーム(ホノルル - ヌアヌワイズメン & ウィメンズクラブのメンバー達)

理証明書の保持者が1名と、イベント許可証も必要です。

鶏肉は、その朝早めにフリ(回転の意)式に調理され、次に、メンバーは、時には非常に熱い半分にした鶏肉をそれぞれ袋詰めする作業を始めます。バッグは、数えられ、再び2、3、4、5個の半鶏肉のバッグのセットに袋詰めされ、お客さんに簡単に渡せるように準備しておきます。

私たちが得た資金は、YMCA とワイズメンのローカルなそして国際的な活動の将来の金銭的支払いに役立っていることを理解し、まる1日充実して過ごします。鶏肉と寿司も驚くほどおいしいのは言うまでもありません!

フィリス・ポボビッチ

韓国:1回の訪問で、2つの目的を達成

「一石二鳥」という諺がありますが、「1回の努力で、2つの目的を達すること」を意味するのは、皆さんご存じの通りです。この諺どおりのことを韓国ワイズの海外医療訪問チームが昨年9月8-15日の間のモンゴル・ウランバートル訪問でやってのけました。

23名からなる医療チーム一行は、キュン・ヒー中央病院からの6名の医師を含めたチームで、現地で1,210名の患者の診察をし、麻酔医療を必要とする15回の手術を、1週間の内に行いました。ワイズの医師団が高い技術力をもっているおかげで、1日平均250名もの人々を診察、治療することができました。



患者の診察手続きで大忙し

ワイズ医師団は、ウランバートル第1国立病院が開設されて以来、最初の腹腔鏡の手術を行いました。この手術の結果は、地元の医療チームを大変喜ばせ、モンゴルの

医療技術のレベル向上に貢献しました。さらに、複雑な整形外科の手術も行いました。それは、大腿骨骨折、ヘルニア、腰や膝の関節手術をも含むものでした。このような手術は、一般的にモンゴルでは未だおこなわれていません。

韓国地域のキム・サン・チェ AP は、この複雑な整形外科の手術に関連する最新の医療技術を惜しみなく地元の医療チームに提供しました。



登録を待つ患者

地元の医療設備や器具が劣るため難しい作業でしたが、行った各種の手術は、ワイズの医師団のおかげで成功裡に達成されました。一行は、韓国から持参した US\$23,300 相



医療従事者は高度医療に従事

当の医療器具を、国境を越えた友情、配慮、心遣いとともに寄付しました。

エクステンション

モンゴル滞在中のキム・サン・チェ AP 一行は、医療



ウランバートル中央クラブの集まり

奉仕の忙しいスケジュールに拘わらず、時間を都合して、モンゴルでのワイズの養成・強化プログラムを実施しました。同国では、最近、ウランバートル中央クラブとホブドクラブがチャーターされています。ウランバートル中央クラブは32名でチャーターしましたが、現在45名に増加、ホブドクラブは22名でスタートしましたが、88名となっています。

これらのクラブの特徴は、ウランバートル中央クラブは、「真実を求めて行動」をテーマにし、このクラブは、会員が医師で構成されていることです。キム・サン・チェ AP は、ワイズの医師に大切なことは、医療現場の訪問・奉仕であり、貧しい人々の



キム・サン・チェ AP がホブドクラブメンバーにスピーチ

のいる環境では地元の医療関係者を訓練し、医療現場の質の根本的改善をすることが重要であると言っています。

ホブドクラブの初代会長のテーマは、「ワイズ運動はモンゴルを救う」であり、彼は、モンゴルの大統領の顧問を務めています。彼は、今回の韓国ワイズメンが現地医療活動を行うにあたり大きな支えとなり、今回の現地活動に積極的に関わってくれました。

韓国地域事務所の投稿



韓国ワイズ医師団とウランバートル中央クラブのメンバー

韓国:寒さと戦うための冬の練炭

ジ・サン・ウン理事率いる全北区は、11月2日に冬の必需品である練炭 50,000 個を約 100 の貧しい地域に配布することで、ユニークなサービスを提供しました。この事業は、数人のボランティアによって支援されました。

練炭の配給サービスは、5つの部から成る韓国全北区の36のワイズメンズクラブによって運営されました。区によって採用された今年のテーマは、「革新を通してのワイズメン」

です。1,000人以上のメンバーが登録して、毎年100以上のボランティア活動を実施しています。練炭の配給サービスに加えて、当区は、10以上の世帯の古いボイラーを修理または交換しました。これらの活動は、両方とも、メディア報道(KBS、JTV、地元の新聞)のおかげで、ワイズメンズクラブ国際協会の知名度を高めるのに大きく貢献しました。

韓国地域事務所の投稿



貧しい家庭に練炭を配る



配給事業の前の広場での集会



全北区の笑顔のボランティア

韓国:温かさや愛を広げる

光州アルファワイズメンズクラブは、9月の快適な日に、幸せで暖かい貴重な瞬間を多文化移民センターで移民の子供たちや幼児と共に分かち合いました。このセンターは、多文化の家族だけでなく、外国人労働者や留学生も歓迎し、受け入れています。メンバーによって集められた衣類が配られ、ハンバーガーも分け合いました。ジャン・シン・ヤン

会長の努力に感謝です。食事を楽しんでいる幸せそうな子どもたちを見るのは、多くの人々にとって喜ばしい時間でした。私たちは、分かち合い、より多くの温かい気持ちと多文化家族の人たちが直面している苦悩を理解する必要があると感じました。それが実現して始めて、彼らの幸福が注目され、韓国社会により良く同化されるようになるでしょう。



光州アルファクラブのワイズメンと子供たちに贈られたプレゼント

タイ:北東部の洪水被害者が支援を受ける



チェンマイワイズメンズクラブとチェンマイYMCAは、タイ北東部の洪水の被害者を支援するためにお金と必要な物資を寄付しました。上の写真は、メンバーとボランティアがチェンマイYMCAの施設で救援物資を配布する準備をしているところです。

地域からの報告

香港:国境を越えたクラブ拡張と奉仕活動

香港部のジョアン・ウォン部長は、アイランドイーストワイズメンズクラブのメンバーとその家族を率いてネパールへ行き、2019年10月12日にガンダキ郡ナワルパラシのレッドハウスリゾートでルンビニ Y サービスクラブをチャーターしました。

デビッド・ルア次期地域会長 / エクステンション事業主任、ジェームズ・コング直前地域会計、ローズ・ユン地域事業主任がアジア太平洋地域からも参加しました。デビッド・ルア次期地域会長がクラブのチャーター式典を執り行い、19人のメンバーを新しいクラブに迎え入れました。

翌日、すべての訪問メンバーは、ディーパック・バンダリクラブ新会長と彼の仲間のメンバーの取り計らいでナワルパラシにある10以上の養護施設と貧しい子供たちを訪問しました。学校カバン、服そして食料が入ったいくつかの小包が子どもたちに贈呈されました。

このコミュニティサービスの他に、すべての訪問メンバーは、訪問中にたくさんのネパール料理と素晴らしい交流、観光そしてネパールの家族からの祝福を楽しみました。

香港アイランドイーストクラブ 会長 ハリソン・チェン



クラブチャーター認証書授与の後にルンビニクラブのメンバーと



訪問者とネパールの家族



子どもたちとスタッフと養護施設の前で

カナダ:とても幸せなクリスマス



今はクリスマスシーズンです!世界中のクラブが祝い、地域奉仕活動のために寄附活動をしています。ピカトウ郡 Y サービスクラブ(女性)おめでとうございます。ニューグラスゴーのクリスマス年次パレードで名誉グランドマーシャルスとしてワイズ奉仕事業を促進する大きなフロートを制作

カンボジアのねじれた銃

カンボジアは、とても長い歴史を持つ国ですが、多くの国と同様にその歴史の一部は、恐らく完全に癒えることのない深い傷跡をカンボジア国民に残しました。1975年から1979年の間カンボジアは、クメールルージュ(ポルポトを中心とする共産主義政権)によって支配されていました。その4年間におよそ2百万人の人々が政治的理由による処刑、飢餓、強制労働によって命を失いました。カンボジアにおいてその酷い苦しみを耐えしのばなかった家族は、一つとしてありませんでした。

1979年以來カンボジアは、国家再建に懸命に取り組み、多くの復興が成し遂げられました。豊かな文化と活力のお陰で大多数の国民は、生活を取り戻すことができたのです。市場は賑わい、新しい建物が建造中であり、学校や大学は、熱心な生徒たちで溢れ、NGO(非政府組織)運動は、堅調かつ健全に行われています。

それでも、恐怖と不信は根強く残っています。戦争とは、いつも治癒を必要とする傷という負の遺産を残すものなのです。内戦状態が終結して30年以上経った現在も、潜在的に豊かな農地の複数の地域を地雷が覆っています。子供達がまだ爆発していない地雷の犠牲となり、腕や脚や目を失い、唐突に命さえ奪われることさえあるのです。また、カンボジアには、ありとあらゆる種類の銃が蔓延しており、銃が全く規制されていないので、多くの悲惨な事件を引き起こすだけでなく、頻繁に紛争解決の手段として用いられているのです。1997年頃にカンボジア政府は、国から長く血なまぐさい戦争の名残を少しでも取り除く一つ



の手段として国民に対して所持している銃を差し出すよう訴えました。何千人もの国民が銃を差し出し、その一部を溶かして作られた「ねじれた銃」という立体芸術は、現在プノンペン市中心部に据えられています。この芸術作品は、1998年に除幕式が行われ、カンボジア国民の平和な国家と平和な将来への夢を象徴するシンボルとなりました。

クメール族(カンボジアの主要民族)の平和への希望を反映するもう一つのプロジェクトも進行中です。カンボジア平和芸術プロジェクトは、様々な芸術作品を作るために、

銃の引き金や銃身、ライフルの銃尻を使っています。プロジェクトに携わっている芸術専攻の学生達は、全員がカンボジアの広大な地域を破壊した内戦の生存者なのです。破壊兵器をこれらの魅力的な芸術作品に作り直すことは、「剣を鋤に打ち直す」類まれな方法なのです。これは、神が私たちに与えられた全ての財産を美の創造のためにも、戦争をするためにも使えることを実証しています。その財産をどのように管理するかという決定は、私たちに委ねられているのです。一部のカンボジア国民にとって、多くの隣人や家族の命を奪い、国中に深い傷跡を残した銃を打ち直すことが、彼ら自身のためだけでなく、彼らの作品を見て、希望と平和を構築する人類の責任について熟考する時間を割いてくれるすべての人々にとっても癒しの過程となりうるのです。

*マックス エディガーは、カンボジアで設立された「平和の学校」の運営責任者です。www.mennolink.org/peace アメリカ合衆国メソナイト教会平和・正義支援ネットワーク・ネット出版、ピースサイエンスの許可を得て転載。

日本は、私たちの支援を必要としています

近年、日本は多くの台風や地震によって多大な被害を被りました。東西日本区のワイズメンは、協力してそれらの自然災害の被災者の生活の復興と再建に携わっています。

東西日本区のワイズメンは、私たち世界のワイズメンに対して彼らの努力への支援を訴えています。ワイズメンズクラブ国際協会は、彼らの努力の真価を認め、すべてのワイズメンにできる限りの支援をするように要請します。詳細については本号の裏表紙をご覧ください。





Y's Men International
Y Service Clubs International

クラブの指導的立場にあるメンバーは、実施した活動に関する記事を1枚以上の高解像度の写真と適切な短い説明文を付けて国際本部に送られることをお勧めします。記事は、150語(英語)以内でお願いします。読者の皆さんもグローバルな私たちの運動に関する関心事について、ご意見や原稿をお寄せ下さい。記事と写真を www.ysmen.org/ymiworld にお送り下さい。次号掲載記事の提出締切日:2020年2月28日

YMCA/ワイズ ポジティブネット基金

台風19号・15号 被災地支援

ポジティブネットとは、
「互いを認め合い高め合うことのできる
善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク」
のこと。

YMCAでは、お互いに支え合い、
助け合う中から生み出されるエネルギーを、
地域の希望に変える働きを進めています。



九森町でのYMCAとワイズメンズクラブのボランティア活動



東日本区北東部部長の鈴木伊知郎氏が自宅をボランティア活動に提供

募金期間 2019年10月17日～2020年3月31日

9月9日に千葉県を中心に猛威を振るった台風15号、そして10月12日に関東地方と福島県を縦断した台風19号により、広域にわたり甚大な被害が出ています。台風19号の被害は、死者92人、不明者9人、堤防の決壊は52河川・73か所に上っています。

被災地でのボランティアワーク等の支援はもちろんのこと、中長期的な視野に立って、人びとの困難に、特に日常生活を奪われた子どもたちに寄り添い続けます。コミュニティの復興支援を目指し、全国のネットワークや特性を活かした活動を展開します。

復旧・復興支援
ボランティア
ワーク等

リフレッシュキ
ャンプやプログ
ラムへの招待

子どもたちのた
めのレクリエー
ションや
心のケア

募金目標額：3,000万円

あなたのご寄付を歓迎いたします。

日本以外にお住まいの皆さま：

寄付ウェブサイト経由でクレジットカードをお使い
いただくのが最も簡便な寄付方法です。

寄付ウェブサイト (英語)

https://srv.asp-bridge.net/ymca_km/index/

